

新潟脳神経研究会第 314 回例会

日時：平成30年7月5日（木）18:00～19:30

場所：脳研究所 1階 検討会室

1) Cell free DNA を利用したリンパ腫の 髄液診断 (20分)

渡辺 潤 (新潟大・脳研・脳神経外科学分野)

近年、中枢神経原発悪性リンパ腫(PCNSL)において網羅的な遺伝子解析が進み、いくつかの driver mutation が分かってきた。また体液に腫瘍由来の微量な cell free DNA が含まれることも分かってきており、liquid biopsyとして注目されている。当科におけるこれまでの取り組みを紹介する。

2) マウス頭頂連合野から一次視覚野への 抑制投射とその機能 (20分)

菱田 竜一 (新潟大・脳研・システム脳生理学分野)

大脳皮質連合野は異なるモダリティの感覚情報の統合や認知・注意などの高次機能に働くとされているが、その詳しいメカニズムは不明である。本研究では、マウス頭頂連合野から一次視覚野への抑制性投射が、視覚野のコントラスト感受性や応答特性などに関与することを明らかにした。これらの結果と高次機能との関係について考察したい。

3) ドレミファソラシは虹の七色：共感覚に おける音の認知 (30分)

伊藤 浩介 (新潟大・脳研・統合脳機能研究センター)

音や音楽を聞くと色を感じる「共感覚」は、音楽家に比較的多くみられます。共感覚者の色の感覚には個人差が大きく、法則性がないとされています。しかし、あらためて詳しく調べたところ、ドレミファソラシの七音が虹の七色に順序良く対応する関係が、明らかになりました。虹色になる原因は不明です。良い説明があれば、教えていただきたいと思います。

どうぞ奮ってご参加ください。

(担当：システム脳生理学分野)
新潟脳神経研究会幹事代表：那波宏之